USC―明治大学学術交流会（於,USC）　　2018 年 11 月 2 日,3 日

古代東アジアの戸籍制度の継受

The *Koseki* System , Diachronic Diffusion and Adoption

報告者：里 舘 翔 大（明治大学,日本史学）

1,戸籍(*koseki*)とは

・古代の東アジア(in ancient East Asia)で使われてきた公的な文書(family registers)

・すべての人々の名前(name),年齢(age),性別(sex),親族関係(relationship)が記載される

・地域ごと（古代日本では、国―郡―郷里）に作成される

・人口を把握することで,税の徴収額や兵士の徴発数を計算できる

2,古代日本の戸籍史料

・702 年―1004 年の戸籍が数点（御野=美濃国,筑前国,豊前国,豊後国,下総国,阿波国,周防国,讃岐国）残っている

・今回扱う戸籍は,大宝 2 年(702 年)の御野国,筑前国,豊前国,豊後国（筑前国,豊前国,豊後国戸籍は西海道戸籍と言われる）

・同じ 702 年だが,御野国戸籍と西海道戸籍のレイアウトは異なる

→御野国戸籍は 1 行に数人,西海道戸籍は 1 行に 1 人のレイアウト

3,東アジアの戸籍史料と木簡・竹簡

・中国の戸籍史料:建初 12 年(416)の西涼戸籍,大統 13 年(547)の西魏戸籍 etc…

・中国の戸籍木簡・竹簡:B.C.222～B.C.208 の里耶古城址出土「里耶秦簡」,建安 25 年(220)～嘉禾 6 年(237)の走馬楼遺跡出土の「三国呉簡」 etc…

・朝鮮の戸籍木簡：6 世紀初めヵの陵山里寺址出土「299 号木簡」

→レイアウトを 2 種類に分けられる,1 行に 1 人のレイアウト or1 行に数人のレイアウト

→1 行に数人のレイアウトは木簡・竹簡にみられ,中国の戸籍文書には使われていない

→しかし,日本の御野国戸籍では 1 行に数人というレイアウトを採用,かなり特殊

4,性別による記載の順番

・御野国戸籍のみ,男(male)→女(female)の順番で書く

・ほかの戸籍は,男女混合

→やはり,8 世紀初めの 702 年御野国戸籍は特殊

→2012 年に福岡県から出土した 7 世紀末の木簡も同じレイアウト

→天武天皇(monarch Temmu)・浄御原令(the Kiyomihara *ritsuryo* code)との関係